

政治経済学部 秋の講演会2009

主催：政治経済学部

「ジャーナリズムの迷走 — 「政局」報道と「政策」報道 —

民主主義にとって「民意」の反映とは根幹をなすものであり「選挙」はその仕組みの一つだが、「プロパガンダ選挙」が主流となりつつある昨今、有権者の判断を左右する報道に求められるものとは何か。選挙における「民意偽装」を鋭く突くフリージャーナリスト・斎藤貴男氏、選挙期間中徹底して「政策」を語る衆議院議員・枝野幸男氏が「報道」を検証する。

講演者プロフィール



斎藤 貴男

フリージャーナリスト

1958年生まれ。早稲田大学商学部卒、英国・バーミンガム大学大学院修了。『週刊文春』などの記者を経てフリーになる。社会・経済・教育など幅広い問題を取り上げ、近年は格差社会や憲法問題についても精力的に発言し続けている。『ルポ改憲潮流』、『憲法が変わっても戦争にならないと思っている人のための本』（高橋哲哉氏との共著）、『教育改革と新自由主義』、『治安国家拒否宣言—「共謀罪」がやってくる』（沢田竜夫氏との共著）、『住基ネットの〈真実〉を暴く—管理・監視社会に抗して』、『報道されない重大事』など多数。



枝野 幸男

衆議院議員
本学総合研究所客員教授

1964年生まれ。東北大学法学部卒。弁護士。1993年旧埼玉5区から衆議院議員に初当選し、菅厚相と共に薬害エイズ問題を追及。金融再生法を成立させ、30代で政調会長を務めマニフェストを取りまとめるなど、「政策新人類」との評価を得る。2005年から民主党埼玉県連代表を務め、国会ではキャノンの偽装請負問題、周産期医療問題、民法722条問題等を追及。2007年、衆議院決算行政監視委員長。2008年、予算委員会理事。同年、聖学院大学総合研究所客員教授に就任。2009年、第45回衆議院選挙において埼玉5区より6選。

コーディネータ：高橋 愛子（本学政治経済学科准教授）

11月11日(水)11:00~12:30

会場：聖学院大学チャペル 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1

(JR高崎線宮原駅よりスクールバスで7分、またはJR埼京線西大宮駅よりスクールバスで10分)

「ジャーナリズムの展望—報道に求めるもの—」

斎藤 貴男 フリージャーナリスト

若宮 啓文 朝日新聞コラムニスト(前論説主幹)
東京大学大学院客員教授

12月2日(水)

11:00~12:30 会場:聖学院大学チャペル



Love God and Serve His People

聖学院大学

【お問合せ先】 企画総務課

事前申込は不要です。

TEL. 048-781-0925

FAX 048-726-2962

http://www.seigakuin.jp E-mail pru@seig.ac.jp